

着付け職種技能検定 1 級学科試験

令和 7 年 6 月 1 0 日（火）

一般社団法人全日本着付け技能センター

問題 1. 服飾の歴史について、下記の中から適当なものを 1 つずつ選び、その記号を記入しなさい。

1. 大正時代

2. 鎌倉時代

3. 江戸時代

4. 平安時代

ア. 右衽令

イ. 袈裟衣

ウ. 十二単

エ. 壺装束

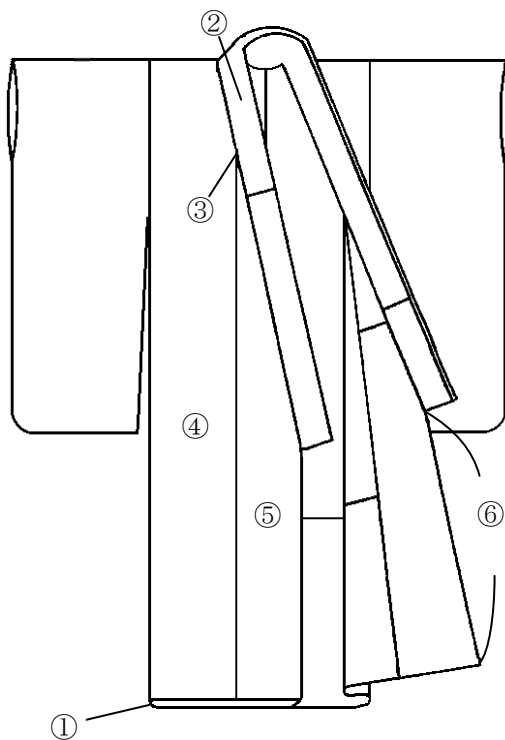
オ. 友禅染

カ. 付下げ

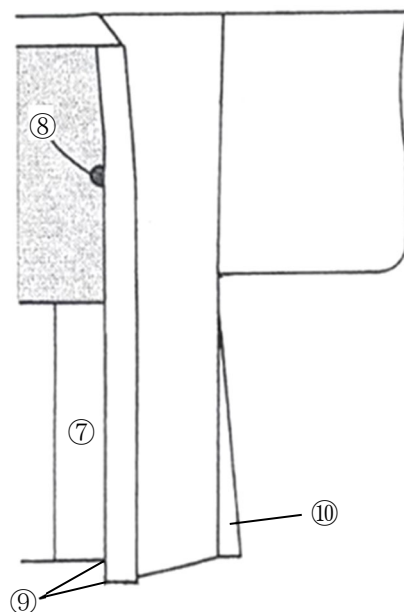
キ. 名古屋帯

問題 2. 次の着物の各部位の名称について、下記の中から適当なものを 1 つずつ選び、その記号を記入しなさい。

〔女物衿（前）〕



〔男物羽織〕



ア. 身丈

イ. 前下り

ウ. 衿

エ. 前身ごろ

オ. 人形

カ. まち

キ. 内揚げ

ク. 裾衦

ケ. 剣先

コ. 身八つ口

サ. くりこし

シ. 袖口

ス. 棲先

セ. 袖付

ソ. 衿下（棲下）

タ. 着丈

チ. 振り

ツ. 衽

テ. 共衿（掛衿）

ト. 乳

ナ. 背縫い

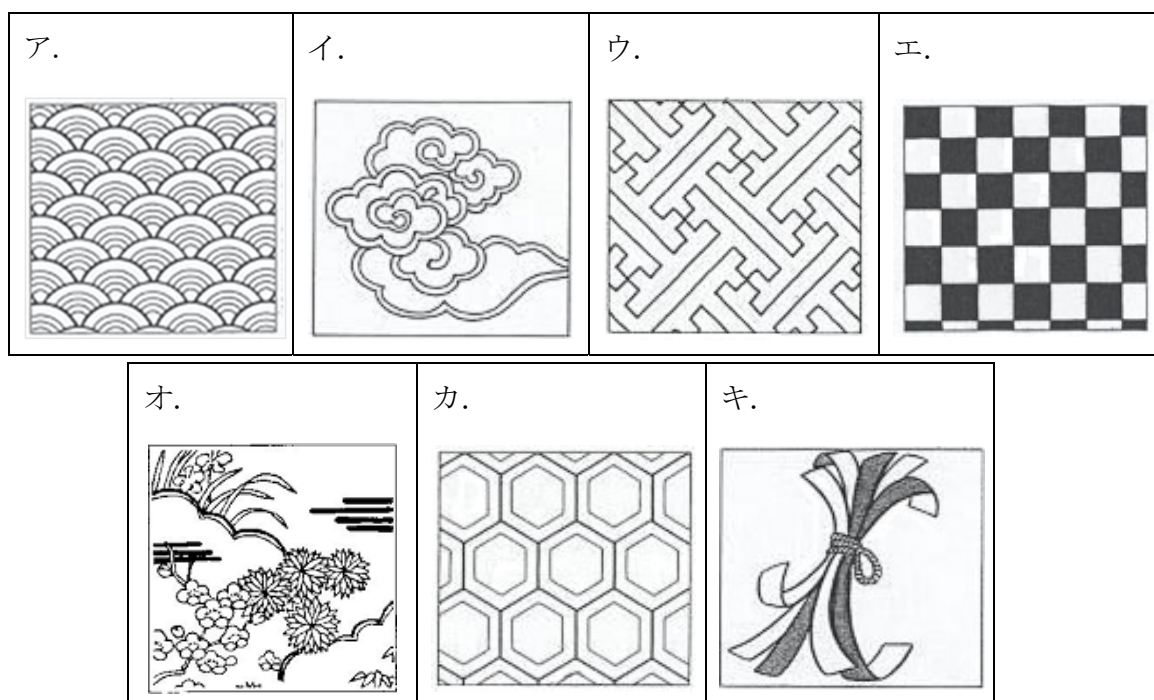
ニ. 衽下り

ヌ. 袖丈

ネ. 裾折り返し

問題3. 次の説明に該当する文様について、下記の中から適切なものを選び、記号を記入しなさい。

- めでたい、縁起の良い文様。平安時代に中国から幸福や繁栄のしるしとして渡来し、これに日本独自のものが加わった。
- 幾何学の図形に似た文様。
- 平安時代から宮廷を中心に、公家の装束や調度品に用いられた織物に施された文様。



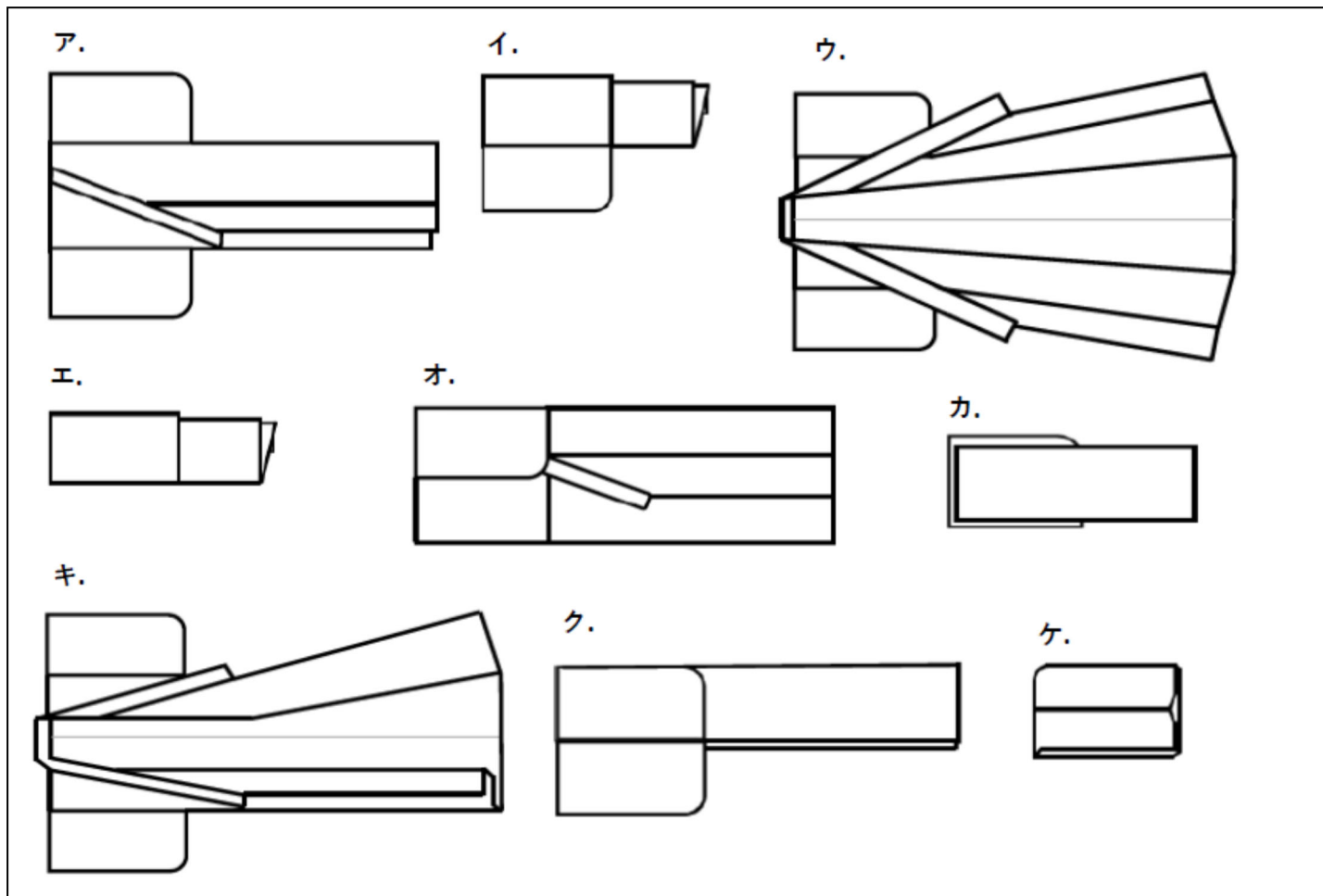
問題4. 男女の着物の主な違いについて、() にあてはまる最も適切なものを下記の中から1つずつ選び、その記号を記入しなさい。

- 男ものの着物 —— (①) に仕立ててあるので、着物丈が定まっている。
着物の脇には (②) はなく、袖には (③) がある。
衿は (④) である。
- 女ものの着物 —— 着物の丈は (⑤) に仕立ててあり、着物丈が長い。
脇には (②) が開いていて、袖には (⑥) がある。
衿は (④) ではない。

ア. 人形	イ. 共衿	ウ. 棒衿	エ. まち	オ. 身幅
カ. 身八つ口	キ. 着丈	ク. ふり	ケ. 身丈	コ. 広衿

問題5. 長着（本だたみ）のたたみ方について、下記の中から必要なものを選び、正しい順序
になるように並べて、その記号を記入しなさい

(1) → (2) → (3) → (4) → (5)



問題6. 三原組織のそれぞれの代表生地について、下記の語群の中から適当なものを1つずつ選び、
その記号を記入しなさい。

1. 連続的に浮沈した組織点が斜めの線をあらわしており、たて糸とよこ糸三本以上から作られている。
2. 織物の表面にたて糸、あるいはよこ糸を浮かせた織物。たて糸とよこ糸の組織点を少なくし、しかも連続しないよう分散させている。
3. 織物のなかでは最も古く、その丈夫さから現在でも多く用いられている。たて糸とよこ糸を一本おきに交互に織り合わせた組織。

ア. 朱子織（縹子織） イ. 平織 ウ. 綾織（斜文織）

問題7. 次の織物について、下記の中から適当なものを1つずつ選び、その記号を記入しなさい。

1. 綴

2. 塩瀬

3. 紬

- ア. 玉繭、真綿、くず繭などを使用して織った平織の絹織物。
- イ. たて糸に撚りのない生糸、よこ糸に撚りの強い生糸を用いて平織にした後、特殊な液体に入れ、煮て精練して仕上げた絹織物。
- ウ. からみ織と平織を交ぜて織った、薄くて織り目が透けている絹織物。
- エ. ギザギザにした爪と櫛で、模様の部分に織り込んだよこ糸をおさえていくという細かい織り方。色の境目には縦方向にすきまができる。
- オ. たて糸を細くして、よこ糸を太くして織るので、布面によこ畝が現れるのが特徴。
- カ. 織り目が細かく、滑らかで艶があり、礼服、羽織裏などに用いられる平織の絹織物。

問題8. 次の染物について、下記の中から適当なものを1つずつ選び、その記号を記入しなさい。

1. 絞り

2. 加賀友禅

3. 京友禅

- ア. 琉球で始まった型紙による染物。
- イ. 人物・花鳥その他などの多彩な模様染めで、室町時代末期にインド・ペルシアから渡来した。
- ウ. 自然の草花や鳥などを写実的に描く。小ぶりの花、虫くい葉などが臙脂、藍、黄土、緑、紫の五色により構成されている。
- エ. 布地のところどころをつまみ糸でくくるか、しわを寄せて縮め、これを染液に入れて染め、その後糸を解きもしくはしわを伸ばし、種々の模様をあらわし出した染め物。
- オ. 上下の方向に関係なく、布地一面に模様を染め出したもの。
- カ. 写生のような画風、繊細華麗な装飾画が基本。御所解文様、有職文様など柄行きは遠目にも映える大柄が多く、刺繍、金箔が加わり豪華なもの。

問題 9. 次の着物の着用時季の説明について、正しいものには○、誤っているものには×を記入しなさい。

1. 薄物の訪問着は7月と8月に着用する。
2. 単の小紋は4月と9月に着用する。
3. 袷の付下げは10月から5月に着用する。

問題 10. 着物の用途、格等の合わせ方に関する記述について、誤っているものを2つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア. 五つ紋付の色留袖と黒留袖は同格である。
- イ. 小紋柄の振袖は、袖丈が長ければ礼装になる。
- ウ. 織りの中振袖は、袖丈が長くても礼装にはならない。
- エ. 絵羽模様の中振袖と袋帯を合わせると礼装になる。
- オ. 色無地一つ紋の着物は、江戸小紋の中の一つである鯨小紋の着物と同格である。

問題 11. 紋の種類について、()にあてはまる最も適当なものを下記の中から1つずつ選び、その記号を記入しなさい。

現在用いられている紋の数は、一つ紋、(1)、(2)で、染紋の種類は、(3)、(4)などがある。正式な紋は、(3)の(2)である。染紋に対して、紋を刺繍したものを(5)という。

また、男子の紋の大きさは、直径約(6)である。

- | | | | |
|-------|------------|--------|-------------|
| ア. 石持 | イ. 日向紋(陽紋) | ウ. 五つ紋 | エ. 3. 8 c m |
| オ. 縫紋 | カ. 陰紋 | キ. 三つ紋 | ク. 1. 9 c m |

問題 12. 次の帯について、下記の中から適当なものを 1 つずつ選び、記号を記入しなさい。

1. 袋帯

2. 角帯

3. 丸帯

ア. 裏や芯を入れず、織物そのものだけの一枚織の総称。博多、綴、紬、絹、紗、羅などの織りの帯。

イ. 柄付けには全通、八通、六通、三通、および太鼓柄などがある。

ウ. 太鼓になる部分は表地をそのまま返し、胴を巻く部分は半幅に仕立てた帯。

エ. 広幅（70 cm）に織った一枚の帯地を、二つ折りにして片方のみを縫い合わせて仕立てた帯で、両面に同じ模様が端から端まである。

オ. 男性用の帯の一種。

問題 13. 次の文章について、（ ）に当てはまる適当なものを下記の中から一つずつ選び、その記号を記入しなさい。

1. 夏の長襦袢は（ ）を用いる。

2. 礼装には（ ）の草履はむかない。

3. 袷の礼装の半衿は（ ）である。

ア. 縮緬

イ. 塩瀬

ウ. 絹、麻、紗

エ. 綸子・縮緬

オ. 佐賀錦

カ. 爬虫類、コルク

問題 14. 次の着物と小物の合わせ方のうち、適当なものを 1 つ選びその記号を記入しなさい。

ア. 黒留袖（袷・単）

色物の長襦袢

イ. 中振袖（袷）

爬虫類の草履

ウ. 色留袖（染め抜き五つ紋）

白の帯揚げ

エ. 喪服（袷・単）

銀の布製の草履

問題 15. 着物の着付けをするときの心得として、正しいものを2つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア. 着付けを始める前には丁寧に一礼をする。
- イ. ひも類は、首や肩にかけて作業をする。
- ウ. 身なりは特に注意する必要はなく、素足でもよく、時計やアクセサリー類を外す必要は無い。
- エ. 着付けをする時のクリップや小物は、着物用がなければ代用品（洗濯ばさみ、生ゴム等）を使用しても良い。
- オ. 着付けをする際には、着物や帯や小物を踏んだり跨いだりしないよう大切に扱う。

問題 16. 次の記述のうち、誤っているものを1つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア. パーマネントウェーブ・結髪・化粧等の方法により容姿を美しくすることは、美容師でなければ業として行うことができない。
- イ. 美容師免許がなければ、有料で着物を着付けることはできない。
- ウ. 花嫁の結髪・化粧を業として行えるのは、美容師のみである。
- エ. 美容師免許を取得すれば、全国どの都道府県でも美容を業として行うことができる。

全日本着付け技能センター

1級学科試験【模範解答】

令和 年 月 日()

受験番号	—
------	---

氏名	
----	--

問題1 (各2点)

1 キ	2 エ	3 オ	4 ウ
-----	-----	-----	-----

問題2 (各1点)

1 ク	2 テ	3 ケ	4 エ	5 ツ	6 ソ	7 ネ	8 ト	9 イ	10 カ
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

問題3 (各1点)

1	イ	キ	2	ア	エ	3	ウ	カ
---	---	---	---	---	---	---	---	---

※1、2、3順不同

問題4 (各2点)

1 キ	2 カ	3 ア	4 ウ	5 ケ	6 ク
-----	-----	-----	-----	-----	-----

問題5 (各2点)

1 ウ	2 キ	3 ア	4 ク	5 カ
-----	-----	-----	-----	-----

問題6 (各2点)

1 ウ	2 ア	3 イ
-----	-----	-----

問題7 (各2点)

1 エ	2 オ	3 ア
-----	-----	-----

問題8 (各2点)

1 エ	2 ウ	3 カ
-----	-----	-----

問題9 (各2点)

1 ○	2 ×	3 ○
-----	-----	-----

問題10 (各2点)

イ	オ
---	---

※順不同

問題11 (各1点)

1 キ	2 ウ	3 イ	4 カ	5 オ	6 エ
-----	-----	-----	-----	-----	-----

問題12 (各2点)

1 イ	2 オ	3 エ
-----	-----	-----

問題13 (2点)

1 ウ	2 カ	3 イ
-----	-----	-----

問題14 (2点)

ウ

問題15 (各2点)

ア	オ
---	---

※順不同

問題16 (2点)

イ
